

継続項目

①観光施設・イベント等入込客数

周遊しやすい環境や能美市らしい観光コンテンツの整備を推進し、来訪者数の増加を目指す。

区分	令和1(2019)年 実績値	令和8(2026)年 目標値
観光施設・イベント等入り込み客数	2,298,900人	240万人
うち主な観光施設	1,053,580人	110万人
うち宿泊施設利用者数	95,415人	10万人

主な観光施設：手取フィッシュランド、いしかわ動物園、辰口丘陵公園、歴史民俗資料館（R2年7月閉館）、能美ふるさとミュージアム（R2年10月開館）、松井秀喜ベースボールミュージアム、五彩館（資料館）、体験館（陶芸館）、浅蔵五十吉記念館（美術館）、アドベンチャーガーデン能美（R4年10月開業）
宿泊施設：ふるさと交流研修センター「ウェルネスハウスSARAI」（R2年より休業、R4年リニューアルオープン）、まつさき、たがわ龍泉閣、旅亭萬葉、B&B NEAGARI、縁が和庵（R2年閉業）、スーパーホテル石川・能美根上スマートインター（R3年開業）、Natural log cottage Hakusan（R5年開業）
※宿泊施設は日帰りを含む人数

②能美市の認知度や魅力度の全国ランキング

ターゲットに応じた積極的なプロモーションを推進し、認知度向上・魅力度向上を目指す。

区分	令和5(2023)年 実績値	令和8(2026)年 目標値
魅力度	538位（6位）	350位
認知度	608位（6位）	500位
情報接触度	677位（7位）	350位
観光意欲度	502位（7位）	300位
居留意欲度	684位（7位）	500位
産品想起率（総合）	472位（6位）	350位

※（ ）内順位は石川県内自治体（市）における順位
出典：「地域ブランド調査」（ブランド総合研究所）

新規項目

③来訪者の満足度

能美市らしい観光コンテンツの提供を通して、能美市への来訪者（観光客・ビジネス客）の満足度向上を目指す。

④市民の満足度

観光まちづくりに対する市民の肯定的な回答の割合増加を目指す。

データの収集方法や、アンケート内容等の検討を行った上、令和6年度より調査実施

能美市観光
アクションプラン2024



石川県能美市



アクションプラン策定の趣旨

◆策定の目的

- 能美市は令和元(2019)年に、交流人口の拡大を図りながら移住・定住につなげることを目的とした「能美市観光戦略」を策定。そのアクションを具体化したものとして「能美市観光アクションプラン2019」を併せて策定し、能美市の観光施策を推進してきました。
- 令和6(2024)年春の北陸新幹線石川県内全線開業含め、能美市の外部・内部両面の環境変化に伴う課題に的確に対応しながら、新たな課題等を踏まえた今後3年間の取り組みを検討し「能美市観光アクションプラン2024」を策定します。

◆計画期間

次期能美市総合計画の策定に合わせ、能美市観光戦略と同時に改訂することを念頭に、**2024年度(令和6年度)～2026年度(令和8年度)の3年間**とします。

アクションプランの体系

能美市観光戦略

施策の5つの柱とアクション

I 観光地としての受入環境整備

観光客が快適に楽しむための基盤づくり

1. 観光資源の連携と開発による観光の拡充

2. 宿泊施設の利便性の向上

3. 観光拠点の整備

4. 二次交通の拡充



II 着地型観光の確立

多様な資源の磨き上げ／体験型観光プログラムの確立

5. 観光商品の磨き上げ

6. ちょい住み体験の受入体制の推進

7. イベントの充実



III 観光まちづくりの推進

観光の担い手育成／ターゲットへの情報発信

8. 観光の推進体制の構築

9. 観光を担う人材の育成

10. ターゲットに応じた情報発信・プロモーション



IV 地域資源を生かしたものづくり

観光プログラムや特産品の開発

11. 観光新商品の開発



V 地域連携による観光事業の拡大

他市町との連携強化／インバウンド誘客推進

12. 広域による観光パッケージの拡大

13. インバウンド観光の充実



アクションプランの進め方

能美市観光アクションプラン2024を推進するにあたり、アクションプラン推進に向けた3つの視点を、地域に関わる多様な主体でしっかり共有し、みんなで、磨き上げます。

年度	何をするのか	
2024年度 (令和6年度) 1年目	● アクションのトライ＆エラー	とにかく、 みんなで 、何でもできることをやってみる
2025年度 (令和7年度) 2年目	● アクションのトライ＆エラー継続 ● 1年目の検証 ● 検証をもとにした事業のウエイト設定	1年目に取り組んだ事業を検証し、「能美観光」※の方向性を見極める
2026年度 (令和8年度) 3年目	● アクションのトライ＆エラー継続 ● 2年間の検証 ● 「能美観光」の推進体制づくり	2年間の検証を踏まえ、能美らしい観光スタイルを構築 「能美観光」を推進する体制を整える

※「能美観光」とは、能美市らしい、能美市ならではの観光スタイル のこと

アクションプラン推進に向けた3つの視点

能美市の観光を取り巻く現状を踏まえ、アクションプラン推進に向けた3つの視点を設定

①能美観光のリブランディング

能美市が観光推進をする上で、今ある観光資源や観光コンテンツを再認識し、能美市の独自性や強みを明らかにする。

②ターゲットに応じたコンテンツ開発と情報発信

①で明確化した強みを踏まえ、ターゲットを想定した観光コンテンツの開発を推進する。またターゲットに応じたメディアを呼ぶなど、ターゲットに情報が届くよう的確に情報発信を行い、誘客につなげる。

③観光まちづくりプラットフォームの形成

能美観光のリブランディング含め、能美市観光アクションプランを効果的に推進するためには、市内の観光事業者との連携が不可欠。
行政と観光関連事業者・学識経験者・市民が共に能美の観光について考え、行動できる体制を確立する。

反映

検討

ディレクション

観光まちづくりプラットフォーム

行政

能美市

観光団体

(一社)観光物産協会

民間

観光関連事業者／学識経験者／市民